

いよいよ・・・志望動機！

まず改めて、今のみなさんは、3年生の0学期です。毎日の全てが進路学習です。ですが、最近の学年フロアの雰囲気を見ていると、まだそういう意識がみなさんに浸透していないように感じられます。「時間に間に合えばいい」、「怒られるようなことはしていない」、「整容指導の時だけ服装を整えればよい」、そんな声が聞こえてくるようです。そういった受け身の姿勢では、みなさんの希望している進路は他校の意識の高い生徒に全て持って行かれてしまいます。周りの雰囲気に関係なく、自分から先回りをして予定を確認し、準備し、進路学習や進路行事で積極的に進路実現に向けた力をつける。積極的(ポジティブ)な取り組みが、希望進路の実現には欠かせません。2年生全員がポジティブ部員になることを、強く望みます。

2学期後半は、分野別説明会、面接練習、小論文練習と、実際に進路活動に直結する行事が立て続けにありました。その中に、「履歴書を書いてみる」という回がありましたね。裏面に現3年生のお手本の履歴書を掲載しました(※個人情報非公表)。圧倒的に美しい字で、資格も多く、また特に志望動機が内容・体裁ともに大変よく仕上がっています。自分の書いた練習用の履歴書と見比べてみてもらいたいと思います。来年の夏には、このレベルのものをみなさんは書けるようになっていなければなりません。もちろん進学者も、進学先に提出する願書や志望動機書は、最低でもこれと同等のクオリティに仕上げてもらふ必要があります。

今回は履歴書練習の第二弾として、志望動機を実際書いてもらいます。進学希望者も、進学先に提出するつもりで文章を書いてみましょう。志望動機は企業や上級学校への一番のアピール材料、言わば「提出書類の顔」です。内容はもちろんのこと、見せ方も重要で、字や体裁を整え読み手が読みやすいように書く必要があります。定規を使ってマス目の下書きをし、渾身の力で書いてみましょう。

小論文を書いてみました

2週続けて、小論文練習に取り組みました。今回は高校生活で頑張ったことをテーマにしましたが、入試では様々なテーマで書くことが求められます。また一部の企業でも、小論文を試験で課すところがあります。

読みやすい文章は、話の流れに一貫性があります。筋道を意識した文章を書く必要があります、セクションごとに書くネタを用意してから書き始めることの重要性を学びましたね。と同時に、12か条のルールも意識して書きましたか。1月には、添削結果が返ってきます。改めるべき部分を把握し、よりよい文章の書き方を習得してもらいたいものです。

小論文作成 基本ルール12箇条

- ①段落の最初は1マス空ける
- ②『、』『。』『』などが行の先頭に来ないようにする
- ③段落はある程度で変える
- ④文体を統一する
- ⑤一人称は『私』
- ⑥数字は半角(1マス2文字)
- ⑦「」以外の記号は使わない(?!""はNG)
- ⑧話し言葉を使わない
- ⑨誤字脱字にならないよう漢字と言葉は正確に
- ⑩不自然な文章表現に注意
- ⑪略語を使わない
- ⑫ら抜き言葉・い抜き言葉を使わない